

秋田県
大館市大館郵便局
徒歩郵便局員

(2002年12月28日撮影)

雪降る中、大館郵便局の腕章をした徒歩の郵便屋さんを発見。記録として撮影させてもらいました。確か学生さんだったと記憶。

〈浅川卓也〉長年にわたり郵便ポストのある風景、特に「丸型ポストのある風景」を撮り続けてきた。郵便車、簡易郵便局、郵便関連の看板なども撮影。



ウメテンプロジェクトJPOの(後列左から)山根局長、北野局長、郷津局長、堀局長。(前列左から)カルテックの北川専務、関西大学の黒田社会学部教授、大和鉄工所の人見社長、社会学部・加藤さん(11月5日、関西大学)



退職後に日本郵便でして日夜奮闘している。培った技能や経験を生かせる道を歩めれば、再就職したいと考えて運第2の人生が待ち受けている。舞岡駅前郵便局の前局長・加藤満広さんは、そんな幸運を体験する一人だ。日本郵便を退職して1年半が経つ現在、福祉支援を事業とする株式会社縁グループ本社(神奈川県藤沢市)の社長と

縁グループ本社社長の加藤満広さん

ター「UME・TEMA」の活性化のために、「大A」を開発した。「UM 阪天満宮へご縁(5円) E・TEMA」は、大を繋ぐ」という思いを込めている。阪天満宮(聖)×ハタ鋳め、売り上げの一部(1

だが、学生たちは「U 会議で学生たちによる ME・TEMA」の開 プレゼンも行われた。発当初から、「UME・ TEMAはメディア 大学(学生支援)×地域

郵便局での経験生かす

福祉支援事業で社会貢献

加藤社長は、5.3 闘争のあった、昭和53年採用。神奈川県藤沢市に採用。神奈川県の藤沢北郵便局に勤務し、配達を担当した。5年ほど経験を積んだある日の配達時に交通事故に遭ってしまった。左足靭帯、向こう脛と大腿部を骨折し、6回手術を受けるほどの重症を負った。通信病院での入院を繰り返して、3年に及ぶ治療を受けた。復帰後、配達の仕事が難しいとの判断によって総務部門に配属された。良い上司に恵まれ経験を積み、総務、会計、人事、労務とさまざまな職務を担当した。44歳の時に、特定郵便局長に就任し、15年間局長として勤めた。最初に赴任した横浜和田

郵便局で10年、残りの5年を舞岡駅前郵便局で過ごした。

横浜西部地区会(佐藤弘行会長/横浜今宿南戸塚部会での地域施策取組みの一環として、戸塚部会に所属していた加藤局長が主となり近隣の舞岡高校内にある神奈川県立保土ヶ谷養護学校舞岡分校室で「働くために必要な内容を学習する」学校のプログラムを支援し4年間作業訓練活動を行った。

そんなある日、数十年

来の付き合いがある幼

馴染の縁グループ会長

が訪ねてきて、「加藤さ

ん。昔、障がい者の支援

に携わっていましたね」と語り始めた。加藤さん

には、障がい者施設の運営を担う会社のトップ

のいすが用意されていた。

加藤さんには、障がい者支援の活動に携わった長い経験があった。キャ

